

山行報告書

日時	2015年 1月25日(日)		
山名	雲仙(妙見岳～国見岳～普賢岳)	天候	晴れ
CL	諫山	参加者	(SA)中澤・吉田・加来・(SL)新里 (5)名
(コース & コメント)	<p>初めての雲仙登山ではある。5:25自宅に諫山号が迎えに来る。 高速道を使い長洲港着。6:55発の有明フェリーに乗船。日の出は雲の向こう側に赤くうっすら。カモメが餌をもらいにやってくる。7:42多比良港着。 仁田峠道路はカーブが多く少し目が回った。途中展望台で普賢岳の写真を撮り、仁田峠駐車場に8:30着。</p> <p>8:37登山開始。ロープウェー下の道を上がり9:06ロープウェー上部駅に着く。 9:13出発。9:25展望台に上がり皆アイゼンを着ける。写真を撮り9:27出発。9:31妙見神社通過。途中、樹氷などを撮影。 9:53国見分かれから国見岳へ上る。 10:03山頂着。1347M 気温-1.5℃。撮影の後10:16出発。10:26国見分かれに戻る。 10:35鬼人谷口。10:44西の風穴。洞窟に入る。天井からの水滴でちょうどリュックサックぐらいの氷の彫刻が地面に立っていた。11:07ここから先は通行止のため引き返すことにする。鬼人谷口まで戻り、紅葉茶屋から普賢岳を目指して上る。 11:33普賢神社通過。11:43霧氷沢着。見上げると平成新山の威容がのしかかってくるみたいだ。まわりは樹氷が結構残っており、撮影し引き返す。 12:05普賢岳山頂着。昼食、サンドイッチとミルクパンに黒糖カフェオレ。 12:40下山開始。12:58紅葉茶屋分岐でアイゼンを外す。13:06出発。13:23あざみ谷で小休。 13:46駐車場着。</p> <p>雲仙の国民宿舎星雲荘で温泉に入る。ここは白濁のなめらかなお湯で、翌日までも体に着いた硫黄のにおいを楽しむことができる。道の駅でがんちゃんイチオシのジャガチャンを食べ、時間が早いため、なんと長崎まで遠征。中華街でかた麺と、やお麺の皿うどんやチャンポン、その他いろいろをたらふく食べ、ぶらりと歩く。長崎の街はすっかり夜。高速道で一路福岡へ。 20:00前に自宅前で降ろしてもらう。</p> <p>思ったより雪が残っていたため樹氷の撮影も楽しめたし、人出も多く天候にも恵まれた。わいわいがやがや山の仲間と過ごした一日は最高の時間であったといってもけって言い過ぎではないと思う。しかしながら二十数年前に起こった不幸な出来事で犠牲になられた方たちのことがもう少し心の隅にあったならばと思うと、国見岳頂上では少しはしゃぎ過ぎたことを反省する次第である。</p> <p style="text-align: center;">いまでこそかんにわくふげんだけ されどわすれじあのひの火山</p> <p style="text-align: center;">S記</p>		
	費用概算	参加者一人あたり¥6,000	

